

○苗木の栽植距離について

苗木の栽植距離（密度）は、品目・品種・土質・栽植場所・栽培方針等に異なります。実際の苗木を植えこむ前に以下の点に注意して、概ねの栽植距離（密度）を決めてください。

栽植距離（密度）決定方法（手順）

① 栽培場所（園地条件）

どのような場所に植え込み、栽培するのか？風当たりが強い。寒さが厳しい。西日が当たらない。降雪量が多い等。

② 土壌条件（土質）

排水性、土質（粘土・砂・ガラ等）。排水性が悪い場所は根腐れや生育不良の原因になる。

③ 栽培方針（方法）

どのような仕立てで栽培していくのか？4本主枝か？2本主枝か？棚栽培か？樹1本を低く、広く作るのか？密植で樹1本を高く作るのか？作業性重視か？生産量重視か？

④ 品目

植え付ける品目は、栽培場所・土質・栽培方針等の条件に合致しているのか？

（例）低温・豪雪地帯では、ぶどう栽培は難しい。（凍害多発・棚倒壊等）

（例）過度の湿地帯では、もも栽培は難しい。（生育不良等）

⑤ 品種

品種毎に枝が直立し易い、枝が下垂し易い、樹勢が強い・弱い、花芽がつき易い・つきにくい等ある。

基本的には…

- 枝が直立し易く、樹勢が強い品種の栽植距離は広め取る。
- 枝が下垂し易く、樹勢が弱い品種の栽植距離は狭く取る。

(参考) 基本的な苗木の栽植距離一覧表

品目名	台木種・品種名等	栽植距離 (列間×株間)	10 a 当りの栽植本数
りんご	マルバ	7m×6m	23～25 本
りんご	JM 台	6m×6～5m	28～33 本
りんご	わい性台	4m×2～1m	125 本～250 本
もも類	開心形	7m×6m	23～25 本
もも類	開心形	3.5×6m	48 本 (間伐必要)
ぶどう	巨峰 (5BB)	5m×10m	20 本
ぶどう	シャインM	2.5m×6～8m	20 本
和梨	南水他	4m×4m	60 本 (間伐必要)
和梨	南水他	8m×8m	15 本 (間伐不要)
西洋梨	ラフランス他	6m×3.5m	48 本
サクランボ	主幹形⇒開心形	6m×3.5m	48 本
サクランボ	主幹形⇒開心形	6m×3.5m	48 本
プラム	開心形	7m×7m	20 本
プラム	開心形	6m×6m	28 本
柿	開心形	7m×7m	20 本



○苗木の植え付け方法（春植え）ポイント

- ① 植え穴は苗木の根の2倍の大きさで、直径80～100cm、深さ50cm位掘り、土とユーキリン(1kg)、もみがらくん炭(適量)、エアープイント(完熟堆肥)を混ぜて埋め戻し、植え付けする。
 - * ユーキリン(20kg：3,865円)、もみがらくん炭(300：496円)、エアープイント(18kg：529円)は、営農センターにて取り扱っています。ご利用ください。
 - * 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。
 - * 配達された苗木は乾燥気味のため、12時間(1晩)程度、根部を水に浸して十分に吸水させてから植え付けする。
- ② 植え付け時は、根を放射状に広げ、各々の根に細土が密着するように丁寧に土をかける。太根の先端を剪定鋏で切っておくと、発根が良くなる。太根の先端は、切り口が下向きになるように切ると癒合や発根が良くなる。
- ③ 植え付けする際、接ぎ木部が完全に出るようにする。(わい性台樹の場合は地上部20cm確保する)
- ④ 植え付け前に、植え穴の底は軽く踏み固める。軟らかすぎると、植え付け後に苗木が沈み込み、台木長が短くなる、又は接ぎ木部分が埋まることがある。
- ⑤ 植え付け後十分にかん水し、土壌と根をよくなじませる。春先は土壌が乾燥するので、敷きわら等のマルチを行い乾燥を防止する。
- ⑥ 苗木は支柱を添えて固定し、風による倒伏やぐらつきを防止する。
- ⑦ わい性樹台・JM台樹等を植え付けする場合は、植え付け後の野ネズミ被害に注意する。苗木の近くに雑草が茂った環境にあると被害に遭いやすい。(対策：幹・根の周辺に金網を巻く等)
- ⑧ 苗木の剪定（切り戻し）

時期：3月下旬～4月上旬

普通樹1年生苗木：70～80cmの高さで切り戻し、切除した付近から少なくとも長さ60cm以上の新梢が3～4本出るようにする。

